

「いろいろな立場から考える図書館業務」

高校図書研 司書部
第4地区研修会
会場：今宮工科高校
月日：2013.8.19
報告者：木田 誠

- 1 はじめに（自己紹介と仕事）
司書教諭 社会科教諭として32年目
司書は大学時代に修得（NDCの時代）
現在の阿倍野高校で情報部という校務分掌
（成績処理のコンピューター操作部分、図書館、奨学金）
- 2 司書室に入る
人事異動で前任の「実習の司書」さんが退職
司書教諭発令は形式的な先例あり

ただ司書室には分掌から1ないし2名が駐在する必要あり
3月31日に社会科から荷物を運び込む
4月1日誰もいない
- 3 まず図書システムを生き返らせる
4月1日時点でだれも貸出方法を知らなかった
分掌で生徒名表作成→図書システム内の生徒情報の更新
年度最初の分掌業務が山積
- 4 開館準備
生徒対応、図書部生徒の「発見」
教員への貸出、、、「木田はん、ちょっと借りるで」
定期的に買っている本・雑誌・新聞→事務室に来ている
（事務、実習教員、技能員とそれぞれの職務）
- 5 司書部会のありがたさ
一切引き継げずに、手探り状況に陥っていた
- 6 蔵書構築したい → 予算
- 7 オリエンテーションに挑戦したい → 授業
- 8 自習室（放課後の生徒の動きを観察中） →